**杉田水脈氏の発言は、出産できない障害者や患者の人権をも踏みにじりました。発言の撤回と謝罪を要求いたします。**

平成30年9月7日

衆議院議員

杉田　水脈　殿

「生きてく会」（すべての人が差別されることなく安心して生きていく会）

初秋の候、いよいよご清栄のことと存じます。

さて、このたびの『新潮４５』における杉田水脈議員の発言、「LGBTへの支援の度が過ぎる」、「生産性がない」は、性的マイノリティであるLGBTの人権を踏みにじるものであるばかりか、「生産」＝出産しない人は行政的支援に値しないと断じたものであり、出産を巡り思い悩んでいる人々の心も深く傷つけました。

津久井やまゆり園事件の犯人、植松聖も「生産性」のなさ＝働けないことを根拠に、重度障害者の殺りくを実行に移しましたが、このたびの杉田議員の発言は行為こそ伴わないものの、植松の思想と同じ根を持つものであり、人の価値を「生産性」の有無で評価するものと私たちは考えています。

このような発言を私たちは放置できません。社会的支援が必要な人びとに、救済の手をさしのべるのが、国会議員としての務めではないでしょうか。社会の偏見・差別に対峙して、生きることさえ難しい人々を守るのが、国会議員なのではないでしょうか。

杉田水脈議員には、LGBTへの偏見差別を改め、人々の「生産性」を行政支援の根拠に挙げたことを省みて、貴議員の公式ホームページにおいて、同発言の撤回と謝罪をこの９月中に掲載してください。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

以上

（＊　賛同団体・個人はhttp://www.arsvi.com/o/s18.htmに順次掲載）

　伊藤　たてお　難病当事者：JPA（一般社団法人日本難病・疾病団体協議会前代表理事）

　今村　登　　　頸損当事者：認定NPO法人DPI日本会議事務局次長

　岡部　宏生　　難病当事者：JPA（一般社団法人日本難病・疾病団体協議会理事）

　佐藤　聡　　　障害当事者：認定NPO法人DPI日本会議事務局長

中西　正司　　頸損当事者：JIL副代表（全国自立生活センター協議会）

橋本みさお　　難病当事者：NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会理事長

森　　幸子　　難病当事者：JPA（一般社団法人日本難病・疾病団体協議会代表理事）

川口　有美子　事務局：NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会事務局長

連絡先：０３－３３８３－１３３７（さくら会内）

E-mail: 　byokinetjapan@gmail.com

呼びかけ人所属先

・DPI日本会議: Japan National Assembly of Disabled Peoples'

International (略称DPI）

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-11-8武蔵野ビル5階

電話: 03-5282-3730, Fax: 03‐5282-0017

・一般社団法人　日本難病・疾病団体協議会（略称 JPA）

〒170-0002　東京都豊島区巣鴨1-11-2　巣鴨陽光ハイツ604号

TEL 03-6902-2083　　FAX 03-6902-2084

mail [jpa@ia2.itkeeper.ne.jp](mailto:jpa@ia2.itkeeper.ne.jp)

・全国自立生活センター協議会（略称JIL）

192-0046　東京都八王子市明神町4-11-11シルクヒルズ大塚１F

TEL:0426-60-7747　FAX：0426-60-7746

・NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会（さくら会）

164-0011　東京都中野区中央３－３９－３

TEL：03-3383-1337　FAX：03-3380-2310